


**「総合的な学習の時間」**
**渥美を元気に！地域から学んでいます**
**福江中学校**


●花びらを使ったせっけんを作る3年生

福江中学校では、総合的な学習の時間にふるさと「渥美」を題材にした学習を行っています。1年生では地域を「知る」活動、2年生は地域の活性化について「考える」活動、3年生は地域の活性化を目指して「動く」活動と、学年ごとにテーマを決めて取り組んでいます。

3年生は、加工食品やアロマキャンドル、せっけんなどの商品を開発したり、観光地を紹介するパンフレットやステッカーを作ったりしています。

また、本年度は新しいチャレンジとして、SNSのインスタグラムを利用して観光地や新しい商品を紹介しています。1年生からの学習の積み重ねが3年生での積極的な活動へとつながってきています。現在、連携を進めている福江高校に新設される「観光ビジネスコース」での実践につなげていくこともできるかもしれません。さらに、このような学習が地域を巻き込む活動になっていけば、「地域の発展」につながり、まちが元気になっていくと考えています。そして生徒が、郷土愛に満ち、自信をもって未来を切り開くことができるような心を育てていくことを願って取り組んでいます。

【福江中学校公式Instagram アカウント名 fukue-chu】


**「シニアふれあい活動」**
**地域も子どもも元気に！**
**衣笠小学校**

本校では、低・中学年を中心に、校区に住んでいるシニアの方に、生活科や総合的な学習の時間・行事などに講師や協力者として参加していただく「シニアふれあい活動」を展開しています。

低学年は、「給食を一緒に食べる会」「秋見つけ散歩会」「お手玉づくりの会」を開き、食事のマナーや植物名、昔遊びを学んでいます。

中学年は、「水鉄砲」「竹笛」「ドングリごま」「田原凧」をつくる会を開き、のこぎりやナイフの使い方や昔遊びを学んでいます。シニアの方とゆったりとしたペースで触れ合うことで、いつの間にか子どももシニアの方も笑顔になっていきます。

高学年は、地域防災や郷土の偉人「江崎邦助巡査」について学んだことを、自治会の協力を得て発信活動をしています。今後も、「社会に開かれた教育課程」を実現し、学校を核として地域の人も元気で活躍できる衣笠小学校を目指します。



●竹のまじない笛作り



●シニアと一緒に昔遊び